

隨

想

# Inclusiveな社会の 実現をめざして

私は、昨年4月より本学に勤務しております。新参者ですがどうかよろしくお願ひいたします。本学では、スポーツ・健康医科学科での講義に加え、付設のクリニックにて整形外科・リハビリテーション科の診療も行つております。標榜科が示すように整形外科やリハビリテーション医学を専門とし、長年にわたり主に運動機能の障害がある方々の診療を行つてきました。

私の所属しております日本リハビリテーション医学会では、障害のある人もない人も充実した人生を送れるInclusive Society(寛容社会)の実現を目指しております。

一方、本学の理念には、「違いを共に生きるとは、国籍、言葉、文化、性別、年齢、障がいの有無などのお互いの違いを認め、すべての命とともに生きる道を探求し続けること」とあり、inclusion(多様性の受け入れ)とは、まさに誰もが是とする言葉で

あります。かつて一億総中流と言わされた我が国はいま、格差社会が固定化しております。それが、経済のみならず、社会構造や健康・福祉などにも及び、社会や人々を分断化するとともに、寛容な精神が失われております。こうした現状においても、皆が等しく自らの幸福、最良のQOLを希求することは普遍的な権利であると考えます。教育者として、また障害がある人々をサポートする医療人として、「inclusion」が自然に人の心に根ざすような社会の実現に多少なりとも貢献できることを目指しております。以上、想いつくままに。

